

エマージング・ソブリン・オープン（1年決算型）

追加型投信／海外／債券



作成対象期間：2020年8月6日～2021年8月5日

第 18 期 決算日：2021年8月5日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、エマージング・カントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券を実質的な主要投資対象として分散投資を行い、高水準かつ安定した利子収入に加え、値上がり益の獲得を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第18期末（2021年8月5日）

基準価額	29,614円
純資産総額	13,120百万円
騰落率	+6.6%
分配金合計 ^(*)	10円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期（過去1年間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

新興国のファンダメンタルズを重視し、発行国の信用力対比でのスプレッド（米国国債との利回り格差）水準が割安と判断される国を中心に投資を行いました。

【第18期末における新興国債券市場への投資のポイント】

➤ **ファンダメンタルズの分析を重視し、ポートフォリオを構築しました。**

新興国債券市場については、グローバル経済の回復基調や、緩和的な金融政策、各国の財政政策に加え、国際機関の支援が市場の下支えとなっているものの、先行きの経済回復の道筋などにはまだ不透明感が残っており、国毎に新型コロナウイルスの影響の度合いが異なるため、各国の影響度合いを精査していく方針です。

➤ **ポートフォリオの構築について**

ポートフォリオの構築に関しては、発行国のファンダメンタルズやスプレッド水準の評価から組入債券を選定しました。

ファンダメンタルズを重視した投資国の選定が引き続き重要であると考えています。

また、市場価格が発行体のファンダメンタルズと比較して割安な状態になっていると思われる銘柄に関しては機動的に組み入れる運用を行いました。

➤ **主な地域別・国別の配分について**

地域別では、ラテンアメリカ、アジアの組入比率を引き下げた一方、中近東の組入比率を引き上げました。

国別では、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているクロアチアやセルビアなどの一部の欧州諸国についてはベンチマークの構成比に対して高めの投資割合としました。一方、ファンダメンタルズは良好と考えられるものの、バリュエーション面で割高と思われるフィリピンなどのアジア諸国などについては、一部を除いてベンチマークの構成比に対して低めの投資割合としています。当期では、制裁リスクは残るものの、国としての安定性は保たれているとみていることからロシアの組入比率を引き上げた他、安定したファンダメンタルズを考慮してガボンの組入比率を引き上げました。一方、ファンダメンタルズに関しては良好と見ているものの、バリュエーションの観点からハンガリーやパナマの組み入れ比率を引き下げました。



ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
シニア・マネジング・ディレクター、債券ポートフォリオ・
マネジャー
ジェームズ ヴァローン

上記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

運用経過

第18期：2020年8月6日～2021年8月5日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第18期首	27,798円
第18期末	29,614円
既払分配金	10円
騰落率	6.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（8.0%）を1.4%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

新興国債券市況が上昇したことや米ドルが円に対して上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等の運用上の費用を計上したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマークは、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2020年8月6日～2021年8月5日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	490	1.724	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(281)	(0.988)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(187)	(0.659)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(22)	(0.077)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	5	0.019	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	495	1.743	

期中の平均基準価額は、28,423円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

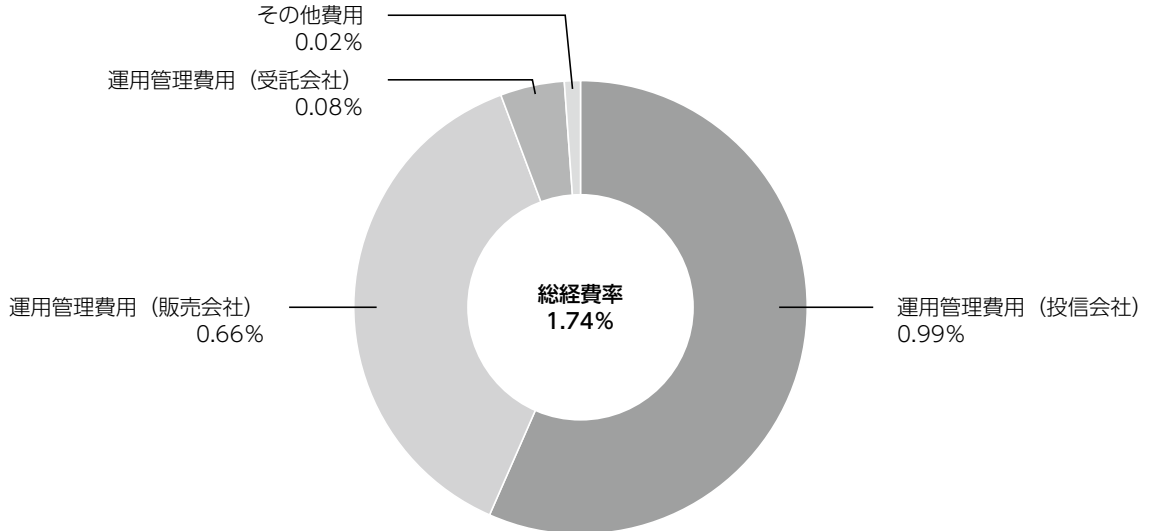
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.74%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

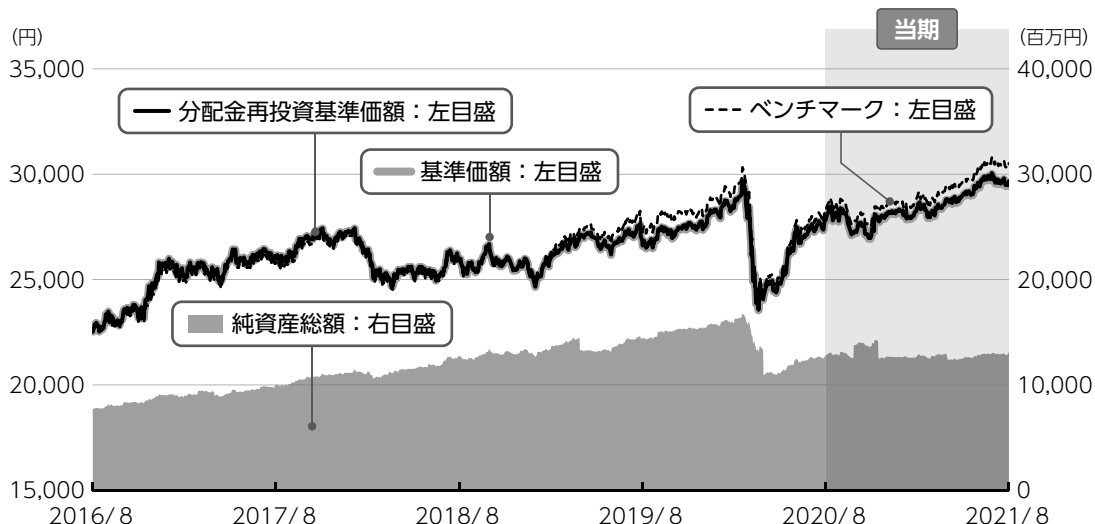
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年8月5日～2021年8月5日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2016年8月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2016/8/5 期初	2017/8/7 決算日	2018/8/6 決算日	2019/8/5 決算日	2020/8/5 決算日	2021/8/5 決算日
基準価額 (円)	22,522	26,131	25,948	26,823	27,798	29,614
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	10	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	16.1	-0.7	3.4	3.7	6.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	14.9	-0.2	6.4	2.8	8.0
純資産総額 (百万円)	7,694	10,006	12,710	14,488	12,801	13,120

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第18期：2020年8月6日～2021年8月5日

投資環境について

▶ 新興国債券市況

新興国債券市況は上昇となりました。

当期は、2020年9月半ば頃から10月下旬にかけて、米国の追加財政刺激策を巡る協議の進展に対する懸念等を背景に新興国債券市況が軟調となる場面がありました。その後、米国大統領・議会選挙の結果を受けて、市場参加者のリスク許容度が改善したことなどから新興国債券市況は底堅く推移しました。2021年2月半ばから3月下旬にかけて、米国のインフレ懸念の高まりから一時的に米国金利が上昇し、新興国債券市場が軟調となった場面があったものの、その後米連邦準備制度理事会（FRB）関係者が金融緩和の縮小に対して慎重な姿勢を示したことなどから米国金利は低下に転じ、新興国債券市況も上昇しました。期を通じて見

ると、新興国債券市況は上昇となりました。

▶ 為替市況

米ドルは円に対して上昇しました。

当期は、期初から2020年12月下旬にかけて新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や米国で緩和的な金融政策が長期化するとの見方が強まっていることなどを背景に米ドルが円に対して軟調に推移しました。その後は、経済活動再開や財政刺激策などによる景気回復期待を背景に米国金利が上昇したことや市場参加者のリスク選好姿勢が強まったことなどから、米ドルは円に対して上昇し、期を通じて見ると、円安・米ドル高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ エマージング・ソブリン・オープン（1年決算型）

エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド

エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象としています。エマージング・カントリーが発行する米ドル建のソブリン債券を中心に投資を行い、一部ユーロ建の債券に投資を行いました。

国別では、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているクロアチアやセルビアなどの一部の欧州諸国についてはベンチマークの構成比に対して高めの投資割合としました。また、制裁リスクは残るものの、国としての安定性は保たれているとみていることからロシアの組入比率を引き上げた他、安定したファンダメンタルズを考慮してガボンの組入比率を引き上げました。一方、ファンダメンタルズに関しては良好と見ているものの、バリュエーションの観点からハンガリーや

パナマの組み入れ比率を引き下げました。デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとしました。

※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

外貨の組入比率を高水準に保ち、米ドル建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。ユーロ建債券への一部の投資については、実質米ドル建の投資となるように為替取引を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

エマージング・ソブリン・オープン（1年決算型）

基準価額は期首に比べ、6.6%（分配金再投資ベース）の上昇となり、ベンチマークの騰落率（8.0%）を1.4%下回りました。

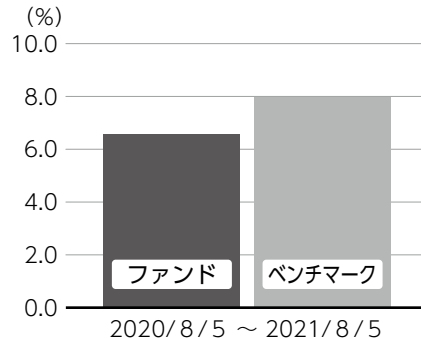
マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等の運用上の費用を計上したことなどがマイナスに影響し、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンスしました。

マザーファンド保有による要因

南アフリカやトルコをベンチマークに対して低めの投資割合としていたことなどがマイナスに作用したものの、ガボンをベンチマークに対して高めの投資割合としていたことやペルーをベンチマークに対して低めの投資割合としていたことなどがプラスに寄与し、ベンチマークに対してアウトパフォーマンスしました。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第18期 2020年8月6日～2021年8月5日
当期分配金（対基準価額比率）	10（0.034%）
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,613

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ エマージング・ソブリン・オープン（1年決算型）

エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

▶ エマージング・ソブリン・オープンマザーファンド

新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、ファンダメンタルズ分析・信用リスク分析に基づく分散投資を基本とし、運用を行う方針です。新興国債券市場では、FRBの金融政策見通しや新型コロナウイルスの変異株の感染状況を巡る不透明感もある中でファンダメンタルズを重視した投資国の選択が引き続き重要であると考えています。そのため、リスクを管理し、世界経済や市場の不安定性に抵抗力を有する国を中心に配分するとともに、市場価格が発行体のファンダメンタルズからカイ離し、割安であると判断し得る債券に対する投資機会を探る方針です。

国別資産配分については、ファンダメンタルズが良好と見ているクロアチアやセルビアなどの一部の欧州諸国やガボン等の一部のアフリカ諸国への配分を重視する方針です。一方、ファンダメンタルズ

は良好と見ているものの、バリュエーション面で割高感のあるフィリピンなどのアジア諸国に関しては、一部を除いてベンチマークの構成比に対して低めの投資割合とする方針です。

当面、デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとする方針です。

為替取引等について、原則として対円で為替ヘッジは行わない方針です。ただし、ユーロ建資産の一部について実質的に米ドル建となるように行っている為替取引のポジション（持ち高）は、当面維持する予定です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

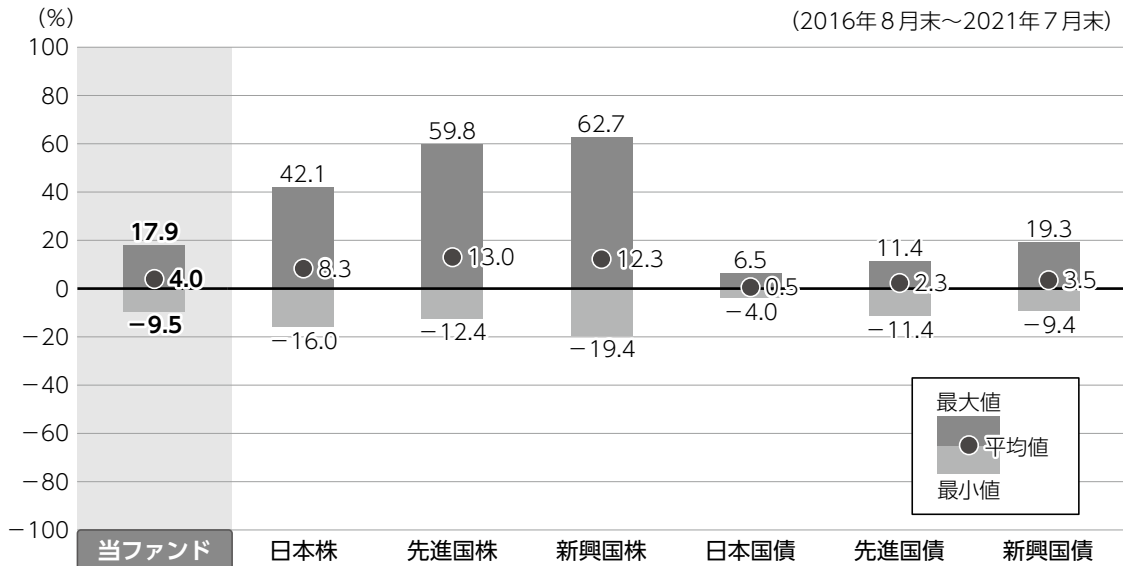
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2033年8月5日まで（2003年8月8日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目的として、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド エマージング・カンントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> エマージング・カンントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、分散投資を行います。 新興国のソブリン債券、準ソブリン債券からの高水準かつ安定した利子収入に加え、値上がり益の獲得を目指します。 マザーファンドの運用の指図に関する権限を、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。
分配方針	<p>毎年8月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年8月から2021年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2021年8月5日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第18期末 2021年8月5日
エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド	99.5%

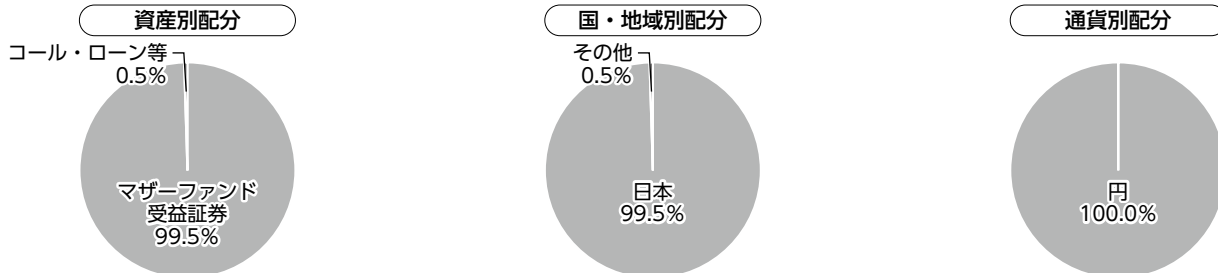
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第18期末 2021年8月5日
純資産総額 (円)	13,120,238,918
受益権口数 (口)	4,430,448,826
1万口当たり基準価額 (円)	29,614

※当期中において追加設定元本は1,154,262,816円
同解約元本は 1,329,048,370円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154010

2021年8月5日現在

組入上位ファンドの概要

エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2021年2月5日～2021年8月5日



1万口当たりの費用明細

2021年2月6日～2021年8月5日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.000
(b) その他費用 (保管費用)	3	0.007
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.007

期中の平均基準価額は、39,567円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

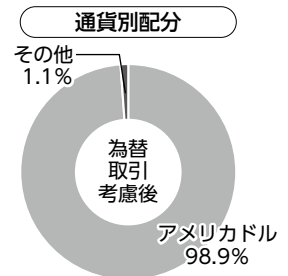
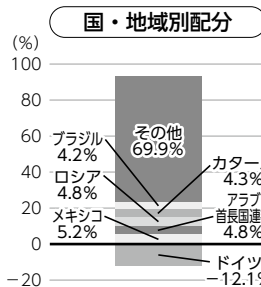
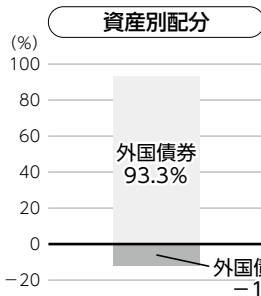
(組入銘柄数：236銘柄)

順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	3.125 ABU DHABI G 490930	債券	アラブ首長国連邦	国債	2.5
2	5.1 RUSSIA 350328	債券	ロシア	国債	1.6
3	4.375 RUSSIA 290321	債券	ロシア	国債	1.6
4	1.5 CROATIA 310617	債券	クロアチア	国債	1.6
5	4.75 INDONESIA 260108	債券	インドネシア	国債	1.3
6	4.25 ISRAEL ELEC 280814	債券	イスラエル	社債	1.3
7	6.625 GABONESE RE 310206	債券	ガボン共和国	国債	1.3
8	4.75 BANCO BRAS 240320	債券	ブラジル	社債	1.2
9	7.253 UKRAINE 330315	債券	ウクライナ	国債	1.2
10	4.75 BRAZIL 500114	債券	ブラジル	国債	1.2

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分は、上位5カ国を表示しています。
※国・地域別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションを表示しています。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）』について

- ・ベンチマークは米ドル建てのJ.P. Morgan EMBI Global Diversifiedを三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえでそれぞれの設定時を10,000として指数化したものです。
なお、ベンチマークは基準日前営業日の同インデックスの指数値を、為替は基準日の三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値を、それぞれ用いて計算しています。
- ・情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- **東証株価指数（TOPIX）（配当込み）**
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- **MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）**
MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- **MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）**
MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- **NOMURA-BPI（国債）**
NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- **FTSE世界国債インデックス（除く日本）**
FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- **J.P.モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド**
J.P.モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信